

# 東京新聞

●中日新聞東京本社  
東京都港区港南二丁目3番13号  
〒108-8010 電話 03(3471)221

2005年(平成17年)1月21日(金曜日) \*11版S 特報 [24]

## スキミング自衛策

盗んだキャッシュカードからスキミングという手口で磁気情報を読みとって現金を引き出した事件で、ショックだったのは現場となったゴルフ場支配人が犯人の一味だったことだ。安全だと思って預けたロッカーが役にたたなかった。忍び寄るカード犯罪への自衛策は一。

## 口座には高額入れない 引き出し制限の銀行に

### 被害に備え

「自分でできる第一の自衛策は暗証番号を他人に知られないことに尽きる」と話すのは、「クレジットカード犯罪・トラブル対処法」という著書がある、元日銀マンでマスターカード在日副代表を務めた末藤高義氏だ。仮にキャッシュカードを盗まれても、暗証番号さえ分からなければ現金が引き出されることはないからだ。

暗証番号が犯罪者に知られてしまうケースはいくつかのパターンがある。現金自動預払機(ATM)で後ろから肩越しにのぞき込んだり、警官を装って聞き出すなどが代表的だ。「犯罪者はATMを操作する人の指先の動きで番号を察知してしまう。それを見られないことがポイント。荷物を置いたりハンカチをかざしたりするだけで防ごうとできる」(末藤氏)わけで、ちょっとした心掛けが立派な対策になる。

暗証番号に電話番号や生年月日、住所の番地などを使わないことだが、それを実行していても意外な盲点がある。安全生活アドバイザーの佐伯幸子氏は「一九八七年以前に作られたキャッシュカードは危ない」と話す。「当時のカードは、磁気情報に暗証番号が入っている。カードを盗まれたら現金が引き出され

てしまう」といつから、古くから「保険証などから類推され、古いカードを持っている人は、自分で忘れない数字なれ、数回に分けて捨てると新しいカードへの作り替え(新しい)と佐伯氏。例えば結婚記念日や「苦労さん」が必要だ。今回の事件は、注意して

暗証番号を一カ月ごとに交換したら、という意見も合わせながら気づかれにくくする。しかし、「番号を頻繁に変えたため、備忘のため暗証番号をカードの裏に書き、カードにかかると個人情報を漏れないようにする」と古くから気をつけるべき、定期預金と普通預金ををカードと一緒にしておくこと。古いカードを捨て「銀行で口座をつくる」というケースもあって、現るときも、二つに割るだけ、定期預金と普通預金を実的な自衛策といえないことでは簡単に復元されてしまふとめた総合口座を勧めらる。要は免許証や健康。なるべく細かく切ったれることが多い。しかし定

### 徹底を予防

## ATMでは周りを警戒 情報漏れ旧カード注意



今回のゴルフ場でのスキミングに使用された無線式小型カメラ(中央左)と受信機(手前)とカード情報の読み取り機一警視庁葛西署で

期預金に大きな金額を入れておくのは禁物で、カードが盗まれたとき被害金額も大きくならないようにと佐伯氏は指摘する。同氏が身、総合口座を持っているが、定期には十万元以上は入れないという。末藤氏は「銀行によって一度に引き出せる金額や一日の取引回数を制限するシステムを導入している。窓口で相談してみても、『できない』といわれたら、そんな銀行はやめてしまえばいい」と話す。スキミングは十年以上も前からある犯罪だが、対策が一向に進まない。特定非営利活動法人(NPO法人)「日本情報安全管理協会」の佐藤健次事務局長は「グローバルスタンダードといえながら、自分で自分を守るという欧米では当然の感覚が、日本では全く根づいていなかった。カードの利便性を享受する以上、リスクも負つし、安全のためのコストが必要ならば、銀行だけに負わせるのではなく、客も一部を引き受けるという姿勢が必要だ」と説く。